

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 05-118172

(43)Date of publication of application : 14.05.1993

(51)Int.Cl.

E05B 49/00

A47G 29/12

E05B 41/00

H04M 9/00

H04Q 9/00

(21)Application number : 03-279342

(71)Applicant : FUJITSU GENERAL LTD

(22)Date of filing : 25.10.1991

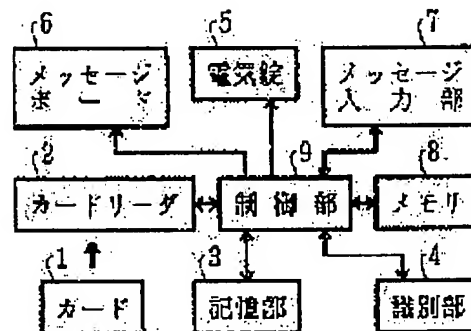
(72)Inventor : OKUMOTO KAZUYOSHI
YAMADA KUNIHIO

(54) HALLWAY EQUIPMENT OF MULTIPLE DWELLING HOUSE

(57)Abstract:

PURPOSE: To display a message on a message board by the specified card as well as to unlock the door of a common hallway.

CONSTITUTION: Data of a card 1 recorded with data of a dwelling unit number or the like are detected by a card reader 2 and compared with, and discriminated from the data recorded in a memory part 3 in advance. In succession, on the basis of a signal to be outputted by the accordance of comparison, a message inputted in response to the data of the dwelling unit number or the like is displayed on a message board 6 while the door of a common hallway is unlocked.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

特開平5-118172

(43)公開日 平成5年(1993)5月14日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
E 0 5 B 49/00	G	2118-2E		
A 4 7 G 29/12	D	7137-3K		
E 0 5 B 41/00	E	9130-2E		
H 0 4 M 9/00	D	8426-5K		
H 0 4 Q 9/00	C	7170-5K		

審査請求 未請求 請求項の数2(全 4 頁)

(21)出願番号 特願平3-279342

(22)出願日 平成3年(1991)10月25日

(71)出願人 000006611

株式会社富士通ゼネラル

神奈川県川崎市高津区末長1116番地

(72)発明者 奥本 和芳

川崎市高津区末長1116番地 株式会社富士通ゼネラル内

(72)発明者 山田 凱弘

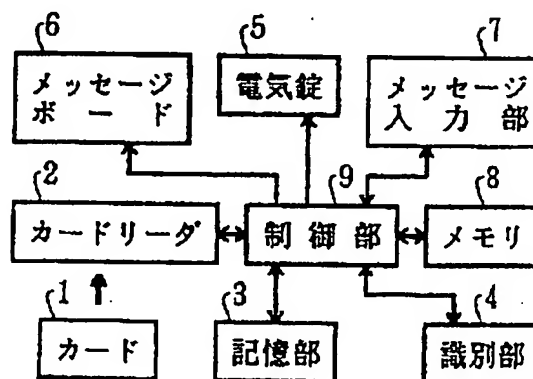
川崎市高津区末長1116番地 株式会社富士通ゼネラル内

(54)【発明の名称】 集合住宅の玄関装置

(57)【要約】

【目的】 所定のカードによりメッセージボードにメッセージを表示すると共に、共同玄関のドアを解錠する。

【構成】 住戸番号等のデータが記録されたカード1のデータをカードリーダー2で検出し、予め記憶部3に登録されたデータと比較識別し、その一致により出力される信号に基づき、住戸番号等のデータに対応して入力されたメッセージをメッセージボード6に表示すると共に、共同玄関のドアを解錠する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 住戸番号等の識別データが記録されたカードと、同カードよりデータを検出するカードリーダーと、住戸番号等のデータを予め登録した記憶部と、検出された前記識別データと記憶のデータとを比較識別し、その一致により特定信号を出力する識別部と、共同玄関のドアを施錠する電気錠と、共同玄関の所定の場所に設けられ、特定の住戸者にメッセージ等を表示するメッセージボードと、管理人室等に設けられ、特定の住戸者へのメッセージをそれぞれ入力するメッセージ入力部と、入力されたメッセージ等のデータを一時記憶するメモリと、前記カードリーダー、記憶部、識別部、電気錠、メッセージボード、メッセージ入力部及びメモリをそれぞれ制御する制御部とでなり、前記特定信号に基づきメッセージボードに前記メッセージ入力部より入力された特定の住戸者へのメッセージを表示すると共に、解錠信号を出力してドアの電気錠を解錠するように構成したことを特徴とする集合住宅の玄関装置。

【請求項2】 各住戸に対応して設置されたメールボックス等にそれぞれ光センサを配して郵便物の有無を検出し、検出結果に基づきメールボックスの扉等に取付けたランプ若しくは前記メッセージボードに併せ表示するようにした請求項1記載の集合住宅の玄関装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は集合住宅の玄関装置に係わり、識別データが記録されたカードにより玄関のドアを解錠すると共に、特定住戸者に対するメッセージを表示するようにした装置に関する。

【0002】

【従来の技術】集合住宅の玄関装置等では、カードによる共同玄関のドアロックを解錠するようにしたシステムが普及している。このようなシステムでは、カードに住戸番号等の識別データを記録しておき、共同玄関に取付けられたカードリーダーでカードの識別データを読取り、予め登録されたデータと比較し、そのデータの一致により電気錠を解錠して共同玄関のドアを開けるものである。一方、このようなシステムの集合住宅では、各住戸に表示部等を設けて管理人よりのメッセージをランプ等で知らせるようにしたものがある。このような従来のシステムでは、外出先から帰宅し住戸内に入って初めて、管理人からのメッセージがあることを知られるのであるから、例えば、宅配便等の荷物が届いているような場合、もう一度、共同玄関に引き返すようなことがあった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】本発明はこのような点に鑑みなされたもので、共同玄関の所定箇所にカードリーダーとメッセージボードを設置し、識別データが記録されたカードにより特定住戸者に対するメッセージをメッ

ッセージボードに表示すると共に、玄関のドアを解錠するようにした集合住宅の玄関装置を提供するものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は上述の問題を解決するため、住戸番号等の識別データが記録されたカードと、同カードよりデータを検出するカードリーダーと、住戸番号等のデータを予め登録した記憶部と、検出された前記識別データと記憶のデータとを比較識別し、その一致により特定信号を出力する識別部と、共同玄関のドアを施錠する電気錠と、共同玄関の所定の場所に設けられ、特定の住戸者にメッセージ等を表示するメッセージボードと、管理人室等に設けられ、特定の住戸者へのメッセージをそれぞれ入力するメッセージ入力部と、入力されたメッセージ等のデータを一時記憶するメモリと、前記カードリーダー、記憶部、識別部、電気錠、メッセージボード、メッセージ入力部及びメモリをそれぞれ制御する制御部とでなり、前記特定信号に基づきメッセージボードに前記メッセージ入力部より入力された特定の住戸者へのメッセージを表示すると共に、解錠信号を出力してドアの電気錠を解錠するように構成した集合住宅の玄関装置を提供するものである。

【0005】

【作用】以上のように構成したので、本発明による集合住宅の玄関装置においては、住戸番号等の識別データが記録されたカードのデータをカードリーダーで検出し、予め登録されたデータと比較識別し、その一致により出力される信号に基づき、住戸番号等のデータに対応して入力されたメッセージをメッセージボードに表示すると共に、電気錠を解錠して共同玄関のドアを開ける。

【0006】

【実施例】以下、図面に基づいて本発明による集合住宅の玄関装置の実施例を詳細に説明する。図1は本発明による集合住宅の玄関装置の一実施例の要部ブロック図であり、図2は本発明に係わる玄関部の概略配置の一例を示す。

【0007】図において、1はカードで、住戸番号等の識別データが予め記録されている。2はカードリーダーで、カード1の記録データを読取る。3は記憶部で、予め住戸番号、暗証番号等のデータを記録しておく。4は識別部で、カードリーダー2で検出したデータを記憶部3のデータと比較照合し、その一致により住戸番号等の識別信号を出力する。5は共同玄関のドア10をロックする電気錠である。6はメッセージボードで、液晶表示板等で構成されカードリーダー2の近傍に設置し、制御部9よりのメッセージデータに基づき起動して特定住戸者へのメッセージを表示する。7はメッセージ入力部で、パソコン若しくはワープロ等で構成して管理人室等に設置し、特定住戸者へのメッセージを住戸番号等の識別コードと共に入力する。8はメモリで、メッセージ入力部7

3

よりのデータを一時格納する。9は制御部で、装置の各部を制御する。

【0008】次に、本発明による集合住宅の玄関装置の動作を説明する。カード1及び記憶部3には住戸者個人を識別するため、例えば住戸番号等のコードを予め登録しておく。また、管理人は特定住戸者に対してメッセージがあるときは、メッセージ入力部7を操作して、例えば、「301号室〇〇様 荷物が届いています。」等の伝言を識別コード301等と共に入力し、メモリ8に格納しておく。帰宅した住戸者は所持したカード1を所定操作してカードリーダ2にデータを入力する。カードリーダ2が読取った住戸番号等のデータは、識別部4で記憶部3の登録データと比較照合され、データの一致により識別部4は住戸番号等の識別信号を出力する。この識別信号に基づき制御部9はメモリ8に記憶の対応するデータを検索する。コードがない場合、制御部9はその住戸者へのメッセージがないものとして解錠信号を電気錠5に出力し、共同玄関のドア10を開ける。いま、一致したコードがある場合、制御部9はそのコードに対応するメッセージデータをメモリ8より読みだしてメッセージボード6に出力した後、解錠信号を電気錠5に出力してドア10を開ける。データを受信したメッセージボード6は、メッセージを表示して住戸者に知らせる。

【0009】図3は本発明の他の実施例を示す要部ブロック図であり、図4は本発明に係わるメールボックスの要部概略構成を示す。なお、図中、図1と同一部分には同一符号を付し重複説明を省略する。11は光センサで、赤外線発光素子11aと複数個の受光素子11b等より構成される。イはメールボックスの部分正面図、ロはその内部概略図である。12は扉、13は住戸番号、14は郵便物の受入口、15は把手、16は郵便物の有無を表示する表示ランプ、17は扉キャッチャーである。いま、郵便物が受入口14から投入されると、発光素子11aよりの赤外線が郵便物で遮られるので、複数個配置された受光素子11bの出力のANDをとり、結果が0ならば「郵便物有り」と判別し、光センサ11は信号を出力する。または、郵便物が投入されるとき、赤外線の受光素子への入力が一瞬無くなるときのパルスの立下がりを検出して判別するようにしてもよい。この判別結果に基づき表示ランプ16を点灯させるようにするか、若しくは、制御部9を介して当該メールボックスの識別コードをメモリ8に格納する。住戸者が帰宅してカード1をカードリーダ2に挿入して識別データを入力し、識別部4が識別信号を出力すると、制御部9はメモリ8に記憶の識別コードをチェック

4

し、光センサ11よりの入力があればメッセージボード6に制御信号を出力して表示する。メッセージボード6での表示の方法は、メッセージと合成して表示してもよく、また、ランプ等を別に設けて点灯し、表示するようにしてもよい。本実施例では郵便物の検出に光センサを用いたが、超音波センサ等を用いて検出することもできる。

【0010】

【発明の効果】以上に説明したように、本発明による集合住宅の玄関装置においては、住戸番号等の識別データが記録されたカードのデータをカードリーダで検出し、予め登録されたデータと比較識別し、その一致により出力される信号に基づき、住戸番号等のデータに対応して入力されたメッセージをメッセージボードに表示すると共に、電気錠を解錠して共同玄関のドアを開ける。従って、共同玄関において管理人等よりのメッセージを知ることができるので、例えば、荷物が届いているような場合、受け取ってから自分の住戸に帰ればよく、二度手間を省くことができる。さらに、メールボックスに光センサ等を配して郵便物の有無を検出し、メッセージボードに併せ表示すれば、メールボックスの扉を開けて確認する手間も省くことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明による集合住宅の玄関装置の一実施例の要部ブロック図である。

【図2】本発明による集合住宅の玄関装置の共同玄関部の概略配置図である。

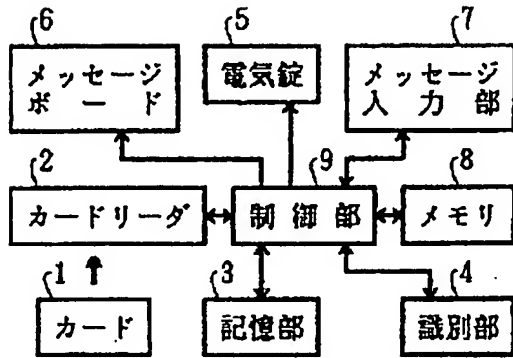
【図3】本発明による集合住宅の玄関装置の他の実施例の要部ブロック図である。

【図4】本発明による集合住宅の玄関装置のメールボックスの要部概略図である。

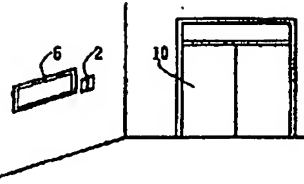
【符号の説明】

- 1 カード
- 2 カードリーダ
- 3 記憶部
- 4 識別部
- 5 電気錠
- 6 メッセージボード
- 7 メッセージ入力部
- 8 メモリ
- 9 制御部
- 10 共用玄関ドア
- 11 光センサ

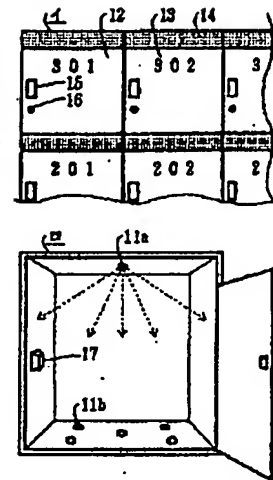
【図1】



【図2】



【図4】



【図3】

